

【開館日】

水～土曜日 13時～21時
日曜日 9時～17時
月曜日 13時～17時

【休館日】

毎週火曜日、「国民の祝日」及び
「年末年始（12月29日～1月3日まで）」

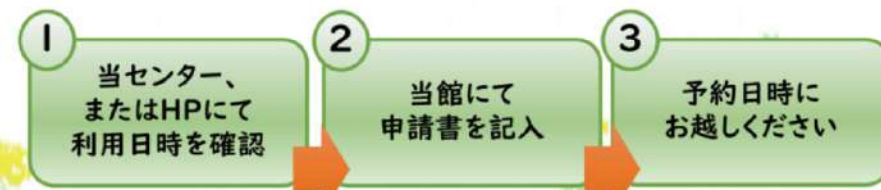


体育センター通信

3月号
No.34

利用方法

障害者（個人・団体）は使用料無料です。それ以外の方もご利用いただけます。



※HPとは四日市市障害者体育センターのホームページのことです

バスケットボールは、只今休止中です。

当センターでできるスポーツ

卓球・卓球バレー・バレーボール・バスケットボール
テニス・バドミントン・ボッチャ・フットサル
アーチェリー・スポーツ吹矢・フライングディスク・体操

アクセス

電車でお越しの場合

四日市あすなろう鉄道
「西日野駅」下車 約0.5km

バスでお越しの場合

三重交通バス
「笹川中学校前」下車 約0.3km

※駐車場（約30台）あり
自動車でもお越しいただけます



お問い合わせ先

〒510-0943 四日市市西日野町4070番地1
・TEL&FAX 059-322-1784
・ホームページ 右のQRコードをスマホ等で読み込むとアクセスできます！
・メールアドレス stc26@m2.cty-net.ne.jp



<https://www.stc-yokkaichi.com/>

センターの活動、障害者スポーツ・イベント情報などお届けします！

今月は、前回に引き続き、
四日市市障害者体育センター外部評価委員(※)、
運営委員の皆様を選んで頂いた、
障害者福祉に関する書籍の特集号
です。

※ 外部評価委員とは、年2回ほど四日市市障害者体育センターの運営に関する助言、改善提案などを行って頂いている皆様です。



障害者福祉に関する書籍の紹介特集



前回に引き続き、今回の障害者福祉に関する書籍紹介特集号では、以下のように書籍を紹介させて頂いています。

- ① 推薦する書籍の題名
- ② 推薦する書籍の出版社
- ③ 書籍の発行年
- ④ 書籍の著者
- ⑤ 書籍の価格(明らかな場合)
- ⑥ 書籍の内容紹介

● 四日市市障害者体育センター運営委員会 運営委員長
松井 真理子様が選ばれた書籍

- ① 『恢復する家族』
- ② 講談社文庫
- ③ 1995年
- ④ 大江 健三郎 著
- ⑤ 724円+消費税
- ⑥ 1958年に23歳で芥川賞作家となった大江健三郎が、1963年に知的障害を持つ光さんを授かり、共に生きる家族の姿を描いたエッセイ集。大江にしてはやさしい文章で読みやすい。これに収められている「受容する」では、障害者とその家族が苦しみを共にする過程を経てこそ確実な受容に至る、それがすなわち人間だと書かれている。家族だけでなく、社会もそのプロセスが必要ではないかと考えさせられる。



● 高橋 亮(運営委員)が選んだ書籍(2冊あります。)

- ① 『大切な人を亡くした人の気持ちがわかる本 グリーフケア 理解と接し方』
- ② 株式会社 法研
- ③ 2022年4月27日 第1刷発行
- ④ 高橋 聡美 著
- ⑤ 1,800円+消費税
- ⑥ 私たちは大切な人を亡くした人にどう声掛けをしたり、接したりすれば良いか、分からないものです。この本は、大切な人を亡くした子どもや大人への声掛けや接しかたなどを丁寧に解説したのですが、唯のハウツー本ではなく、繊細な優しさに包まれた一冊のような気がします。

- ① 『大人の発達障害 仕事・生活の困ったによりそう本』
- ② 株式会社 西東社
- ③ 2021年3月10日 第1版発行
- ④ 太田 晴久 監修
- ⑤ 1,500円+消費税
- ⑥ 発達障害に関して解説した本は沢山あるようですが、この本は、障害当事者の仕事と生活の具体的な場面について対処法などを解説しています。働く発達障害当事者に有効な実践の書です。

令和5年度体育センターまつり開催のお知らせ

令和6年3月23日土曜日に当館にて体育センターまつりを開催いたします。詳しくは、ホームページを参照ください。
ホームページURL：<https://www.stc-yokkaichi.com/>

編集後記

高橋は読書が大好きです。1ヶ月に1冊は新しい本を購入して、読んでいます。しかし、内容は1回では理解できないことが多いので、何回も気に入った本は読み返しています。読書百遍義自ずから通ず、を痛感する日々です。

(高橋)

先日、子どもの頃親に何度も読んでもらった絵本を買いました。文章も絵もすべてが昔のままで、名作はこうして受け継がれていくのだな、と少し感動を覚えました。

(伊藤)